千葉明徳短期大学育ちあいのひろば たいむ 通信　　8月号【H28.8.3 発行】

soda▶chia▶i

grow each other

Lead【ニュース】

夏本番です！　長かった梅雨も明け、季節は夏本番を迎えようとしています。毎年、たいむでは、夏の恒例の行事を行っています。水あそびに、ドジョウ、流しそうめん、BBQ などがそうです。ドジョウつかみは、2年前から行っていますが、生き物を手で捕えること、捕えた生き物の命を"いただく"体験を大切にしたいと考えて行っています。流しそうめんは、4年前から行っていますが、初めから毎年楽しみに参加してくれている小学生もいます。今年の BBQ は、これまでは行ってきた形を変え、「まんぷく CAFÉ」の中で『ミニ縁日』として行いたいと思います。

たいむでは、こうした季節の行事について、①季節感があり日常に潤いを与えるようなもの、②なかなか家庭ではできないようなもの、③「食育」をテーマにすることなどを心がけています。夏休みということもあり、小学生も多く来てくれています。食べる体験や親子共々未知なる体験が、子どもの成長に意味ある経験となってくれれば幸いです。

◇ ドジョウつかみ＆柳川丼 ◇ 7月22日（金）

ドジョウは、埼玉県鴻巣市の卸業者に新鮮な活きドジョウ1kgを直接買付に行っています。今年も、また本田さんに来ていただいて、柳川丼を調理していただきました。また、カリッと揚げたから揚げも好評でした。

子どもたちはまず、恐る恐るドジョウを触り、逃がし、また捕まえて遊びました。その後、食べる分のドジョウを捕らえ、皆でいただきました（基本的にドジョウは水流などにも弱い生き物なので、子どもたちの「かわいがり」後は弱ってしまいます）。保育園や幼稚園で「食育」といえば、栽培したものを食べることが主流かもしれませんが、それだけでなく、「生きものの命をいただく」ことも食育ととらえ、こうした体験を大切にしています。

◇ 流しそうめん ◇ 7月29日（金）

毎年夏が近づくと、「流しそうめんはいつ頃ですか？」と聞かれるほど大好評の企画ですが、今年は、初めてスペインの音楽大学の学生（本学教員の明石先生が行っている「フィールドワーク」の行き先でもある）も参加し、異文化交流の場にもなりました。スペインのお兄さん・お姉さんの登場に子どもたちは少し驚いていましたが、そうめんやみかんを仲良く食べ、スペインの学生も子どもたちと目が合うと優しく微笑み合っていました。お母

さん方も「お箸上手だね」「おいしい？」と話しかけてくださり、最初は少し不安そうで、恥ずかしそうな表情でしたが、慣れてくるととてもリラックスした様子で「OISHIIDESU」と笑顔で答え、流れてくるそうめんをなかなか箸で食べられない様子に笑い声が絶えませんでした。

お母さん方にも、そうめんを茹でたり、麺だけでなく一口ゼリーを流したりと一緒に行っていただき、いつものイベントの時よりもお母さん方とスタッフの一体感を感じました。その間、近くのお母さん方同士子ども

たちを見合っていました。当番や係、交代の順番はもちろん決まっていませんが、お母さん方が自分たちで声をかけあって動いてくださいました。

Episode【事例】

■ みんなで子育てっていいね！■

育ちあいのひろば たいむは、「子ども・保護者・学生・地域・スタッフ、みんなが共に育ちあえる場所」を目指しています。そこで、定期的にたいむの活動報告と様子をお伝えすることで、育ちあいについての振り返りをしています。

～ 6月22日(水)の育ちあいのひろば たいむ facebook の記事より抜粋 ～

お腹が空いて泣いていた赤ちゃん。(Rくん・2ヶ月) お母さんが赤ちゃんのミルクを作っている間は、よそのお母さんが赤ちゃんを抱っこしていました。ミルクができると、赤ちゃんのお母さんに「ミルクもあげていいですか」とリクエスト。赤ちゃんのお母さんも快く応えてくださいました。ミルクをあげたお母さんのお子さんたちも小さな赤ちゃんに興味津々で、頭を優しくなでたり、お母さんの手を借りながら一緒にミルクをあげたりと、とても微笑ましい光景でした。赤ちゃんに癒されながら「こんなに小さかったのに、みんな大きくなったね！」と、大人たちは子どもたちの成長をしみじみと感じながら、会話が弾みました。まさに「みんなで一緒に子育て」という感じですね。

《下記は上記の記事からちょうど一ヶ月たった日の出来事です》

一ヶ月前にミルクをあげたお母さんは、「大きくなりましたね！」と、Rくんのお母さんと話をしていて、久しぶりに抱っこをさせてもらいとても穏やかな表情でした。子どもたちも「赤ちゃんだ！」と嬉しそうに頭をなでていました。

また、図書館に来ていた学生(1年生)も笑顔で見ていました。学生の1人は、「弟が小さいから抱っこには慣れている」と話しながら、積極的にRくんを抱っこしていました。その隣で、Rくんの顔を覗き込んでいた学生に、「とても良い機会だから、抱っこさせてもらったら？」とすすめてみると、「いやいや、小さくて怖いですよ」と不安そうな様子。すると、Rくんのお母さんが、「大丈夫だよ！ 怖くないよ。せっかくだから抱っこしてあげて」と優しく背中を押してくださり、抱っこに挑戦しました。まだまだ不安な表情を残していましたが、「意外に重たいんだね」との感想を。その後には、年少児のRくんのお姉さんMちゃんと話をしたり、抱っこを求められたりと賑やかに遊んでいました。

学生は保育についての勉強をしていますが、実際に赤ちゃんや幼児とふれあう機会はそれほど多くはありません。また、実習では保護者の方とのかかわりは無く、たいむでの保護者の方とのかかわりは学生たちにとても大きな学びとなっています。今回のように保護者の方から学生の背中を直接押していただけたことで、少しの自信と良い経験になったのではないかと感じました。保育の現場に出る前に、日頃から子どもたちや保護者の方とふれあえるような場所が必要ではとないかと改めて思いました。

「子ども・保護者・学生・スタッフみんなが共に育ちあえる場所」というねらいは、簡単そうに聞こえますが実は難しい課題だと感じています。しかし、たいむの雰囲気によって、みんなの距離は縮まるのではないかとも考えています。スタッフ自身が、ついつい目先のことばかりに目を向けがちで、結論を急ぎすぎてしまうことがありますが、長い目でみてみると少しずつたいむの様子にも変化がみられてきています。この頃は、学生(2年生)の方から「実習で赤ちゃんミルクをあげてみたいので、遊びに行ってもいいですか？」「遊びに行きます！」と声をかけてもらえることが増え、たいむの部屋の中まで入ってくるようになりました。子どもたちとのふれあいも楽しそうです。学生のなかには、7ヶ月のTくんに離乳食をあげさせていただき、食事の様子も見学させていただきました。

まだまだ学生たちにとっては緊張する場所のようですが、「スタッフが学生の立場であったら、どうすれば来たいと思えるか」などスタッフ間でも話し合い、今より沢山の人たちが集える場所になるよう工夫・改善していこうと思います。（本田）

Report 【報告】

◇ お願いごとをしたよ！ 七夕飾り ◇

今年もたいむの廊下に笹竹を設置し、みんなで短冊や飾り付けをしました。今回も親子での会話を楽しみながら、一緒に飾りを作たり、子どもたちの短冊を書いたりしていました。

五色の短冊には「ヒーローになりたい」「プリキュアになりたい」など、子どもらしい願いごとや学生（2年生）たちの短冊も笹竹に飾ってありました。みんなの願い事が届いているといいですね。

昨年に続き、今年も学生（2年生・S 君）が明徳中学校の裏山まで笹竹を切りに行ってくれましたが、笹竹を切りに行く際に、「もう七夕なんですね、忘れてました。」と話していました。誕生日やクリスマスのように、七夕は一年のうちで大きなイベントではないかもしれません。しかし、大人も季節の行事に少しでも触れることで、日本の四季をより感じやすくなるのではと思います。七夕に限らず、日本の四季に目を向けてみるのも楽しいかもしれませんね。

◇ 水あそびも楽しいよ！ ◇

7月7日（木）、今年度初めてプールでの水あそびが本格的に始まりました。1～4歳の子どもたちが水（湯）入り、とても気持ちよさそうでした。初めて水あそびをする1歳のYくん・Nくんは、お兄さん、お姉さんの遊ぶ姿を見てプールに興味津々。プールに入り、頭や顔に水がかかっても泣くことはなく、お兄さんたちと一緒に大きな声で笑っていました。

たいむの水あそびは、1歳くらいから幼稚園児くらいの子どもたちが一緒になって遊んでいます。暑い日には、子どもたちが思いきり水あそびを楽しめるように、自分の子もよその子も、周りの大人みんなで見守っていけたらと思います。

info【情報・お誘い】

◆ 図書館よりおしらせ ◆ **8月1日（月）から9月2日（金）まで蔵書点検のため、図書館を閉館**させていただきます。そのため、8月中は図書の貸し出しは行いませんのでご了承ください。**現在借りている本がありましたら返却をお願いいたします。**

◆ たいむの夏季休暇について ◆ 7月号でお知らせしました日程に変更がありましたので、改めてお知らせいたします。短期大学の休暇に伴い、**8月11日（木）～8月19日（金）まで、たいむも1週間の夏季休暇**をいただきます。**8月22日（月）のおやこのじかんより通常開室**となります。

※ まんぷく CAFEの際、たいむの通常開室（10時から）はしませんのでご了承ください。